

2009

Midsummer Seminar 印象記

市立豊中病院 放射線科 塚部明大

7月18日、19日と神戸ポートピアホテルで開催された2009年度のミッドサマーセミナーに参加させていただきました。私は現在卒後5年目ですが、3年目以降、毎年参加させていただいており、今年で3度目の参加となります。この会は様々なテーマに沿って系統的に勉強できる数少ない機会であり、毎年神戸で開催されていますので、大阪にいる私には仕事などの都合を含め非常にありがたい会です。また夜には他病院で働いている同期と呑みに行くのも恒例となっています。本年は市立豊中病院の上司と後輩もともに参加させていただきました。

今年もA会場とB会場の2会場で並行して講演が行われました。会場間には休憩室も設けられコーヒー等の飲食物が用意されています。それぞれの会場での講演がテレビ中継されており、こちらでのんびりと受講することも出来ます。毎年のことですが、どちらの会場で行われる講演も魅力的でどちらを聴講するか非常に悩みます。ただだけの抄録集には講演のほとんどのスライドが掲載され、それ以上のまとめを掲載して頂いているなど非常に充実したものとなっており、これだけでも十分に教科書として使えるものです。また例年ほとんどの講演は後日専門医会のホームページ上で公開され、自由に視聴することが可能です。聞

けなかった方は改めて視聴すれば良いのですが、自主的にはなかなかしないのが現実です。今年は2会場の距離が近く移動が容易で、両会場を往復していました。

全体を通じ様々な疾患を見せていただくことが出来るわけですが、今回私の最も印象に残ったのは膵の嚢胞性疾患のものでした。日常遭遇することが比較的多く、勉強することの多い病変なのである程度知っているつもりでしたが、様々な例を見せていただき自分の知識のあいまいさと不勉強さを思い知ることになりました。また「レポート」についても非常に印象的でした。実際にどちらともつかない所見を書いてしまうことは少なくなく、常に考えさせられることが多い課題です。提示された見落とし症例などは実際に自分も経験してしまっているようなこともあり、改めて身につまされるような感覚がありました。所見についてはそれぞれの考え方もあり正しい答えがあることでは無いとは思いますが、少なくともその後の加療の方向性を間違えることのないような所見を書くように出来ればと思っています。

最後になりましたが、講師の先生方や専門医会の関係者の皆様、ありがとうございました。毎年大変ご苦勞があるとは思いますが、これからも続けて開催していただけるようお願いいたします。



フィルムリーディング最優秀者

6年以上の部 最優秀賞

内藤 眞明 (磐田市立総合病院) 塚部 明大 (市立豊中病院)

5年以下の部 最優秀賞

研修医の部 最優秀賞

河合 亮 (尾道市立市民病院)

田中 高志 (岡山赤十字病院)